



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月2日

上場会社名 株式会社アイロムグループ 上場取引所 東
 コード番号 2372 URL <https://www.iromgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊隆
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 犬飼 広明 (TEL) 03 (3264) 3148
 経営管理センター担当
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,639	40.9	2,409	180.8	2,503	151.8	1,983	174.0
2022年3月期第2四半期	6,839	34.7	858	144.0	994	119.9	723	126.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,088百万円 (315.0%) 2022年3月期第2四半期 503百万円 (△4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	164.17	163.91
2022年3月期第2四半期	59.99	59.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,433	11,967	39.2
2022年3月期	26,588	10,162	38.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,941百万円 2022年3月期 10,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2023年3月期	—	25.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	20.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	5.1	3,000	8.5	3,000	17.1	2,100	7.1	173.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	12,338,365株	2022年3月期	12,306,665株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	230,665株	2022年3月期	230,245株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	12,080,655株	2022年3月期2Q	12,066,269株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

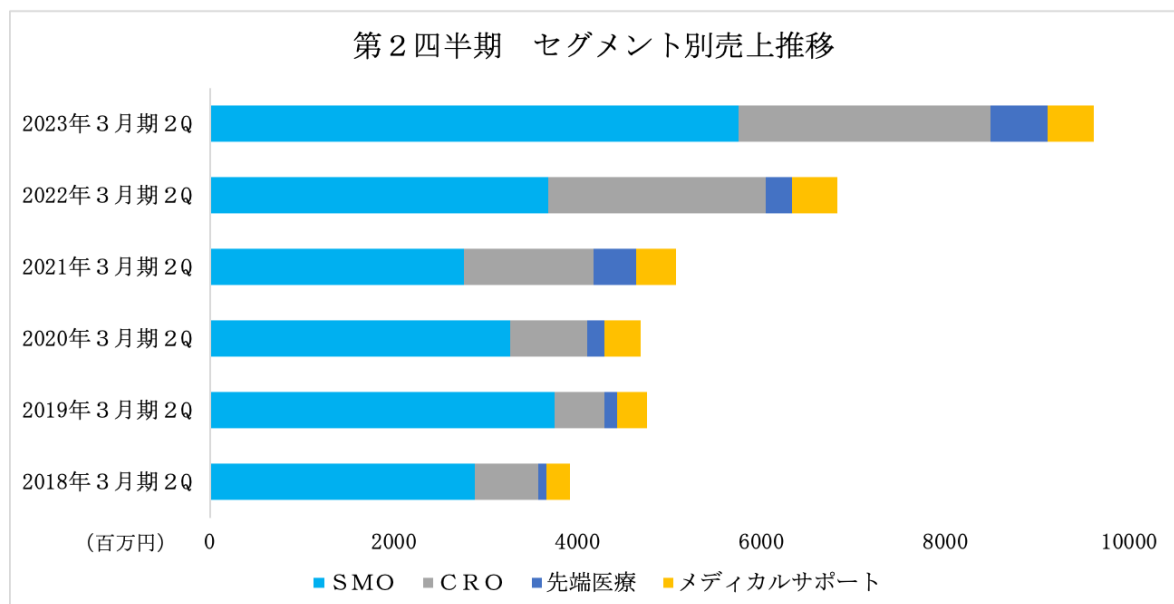
当社グループは、創業以来の中核事業であるSMO事業及びCRO事業の拡大を推進するとともに、グループ戦略として、SMO事業及びCRO事業で創出される資金を原資として、先端医療事業における医薬品や先端医療技術の開発、メディカルサポート事業のノウハウを活かした各事業のさらなる拡大のための設備投資等を進めています。各事業においては、引き続き変革と革新に取り組み、グループシナジーの最大化と模倣困難な競争優位性の確立を推進しており、中長期的な企業価値の向上に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間においては、SMO事業において基幹病院との提携を引き続き拡大しており、がんや難治性疾患を含むあらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制を構築するとともに、前期に続き大型案件が売上に寄与し、業績が伸びました。

また、CRO事業では、国内外の臨床試験実施施設において、新規試験の受託が堅調に推移しています。国内の開発業務支援においても、バイオ統計及びデータマネジメントのさらなる強化に取り組んでおり、アカデミアが実施する臨床試験をはじめとした新規試験の受託が拡大しています。

先端医療事業においては、iPS細胞作製キット「Cyto Tune-iPS」のライセンス事業が堅調に推移するとともに、治験国内管理人（ICCC：In-Country Clinical Caretaker）サービスやiPS細胞培養上清液を化粧品原料として使用した「iPSスーパーネイタントアプリケーション」の販売、同原料を使用した製品のOEM（受託製造）等を推進し、開発を進めている医薬品の研究開発等にかかる費用に充てることにより、当セグメントにおける収益の改善を図っています。

その結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は9,639百万円（前年同四半期比40.9%増）、営業利益は2,409百万円（前年同四半期比180.8%増）、経常利益は2,503百万円（前年同四半期比151.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,983百万円（前年同四半期比174.0%増）となりました。



セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① SMO事業

当セグメントにおきましては、引き続きアンメット・メディカル・ニーズの高いがんや難治性疾患等の疾患領域の開発が増加しているため、専門医療センターや大学病院等の基幹病院との提携を拡大し、あらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制構築を推進しています。一方で、がんや難治性疾患等の試験と比較して1試験あたりの規模が大きいプライマリー領域の試験の受託も推進しており、当第2四半期連結累計期間においては、前期（2022年3月期）に受託した大型案件が順調に進捗するとともに、新規に受託した大型案件も開始され、業績に大きく寄与しました。

また、医薬品・医療機器等の開発はグローバル化や開発期間の短縮化が進むとともに、開発手法の変化により、臨床試験に対するニーズの多様化が続いています。当社グループのSMO事業では、医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より一層の人材教育の徹底を図っています。さらに、当社グループにおいて、治験情報統合管理プラットフォーム「aSBo Cloud System」

を開発し、医薬品開発の生産性、効率性、透明性の向上に取り組むなど、医薬品開発環境のさらなる発展を目指して事業を推進しています。

その結果、売上高は5,747百万円（前年同四半期比56.2%増）、営業利益は3,275百万円（前年同四半期比109.4%増）となりました。

② CRO事業

当セグメントにおきましては、日本・オーストラリア両国にて保有する臨床試験実施施設において、欧米や日本を含むアジア・オセアニア地域の製薬企業等の早期段階の医薬品開発を支援しています。また、国内において、医師主導治験や臨床研究の支援、企業主導治験のモニタリング等の開発業務の支援を行っています。

当第2四半期連結累計期間においては、国内外の臨床試験実施施設において、新規試験の受託が堅調に推移いたしました。国内の開発業務支援においても、バイオ統計及びデータマネジメントのさらなる強化に取り組んでおり、アカデミアが実施する臨床試験をはじめとした新規試験の受託が拡大しています。

その結果、売上高は2,741百万円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益は82百万円（前年同四半期比65.7%減）となりました。

③ 先端医療事業

当セグメントにおきましては、COVID-19ワクチンの開発において、国内初となる経鼻接種によるウイルスベクターワクチンの実用化を目指し、臨床試験の実施に向けた準備を進めています。虚血肢治療製剤

(DVC1-0101)の開発においては、実施していた医師主導治験が終了し、試験結果の解析を行っています。

また、iPS細胞作製キット「Cyto Tune-iPS」のライセンス事業が堅調に推移するとともに、治験国内管理人 (ICCC: In-Country Clinical Caretaker) サービスも順調に進捗しています。

さらに、iPS細胞培養上清液を化粧品原料として使用した「iPSスーパーネイタントアプリケーション」の販売が堅調に推移するとともに、同原料を用いた製品のOEM（受託製造）の受託が拡大し、業績に寄与いたしました。

当セグメントでは、COVID-19ワクチンをはじめとする研究開発に注力しており、その経費が引き続き発生しておりますが、各事業の推進により当セグメントにおける収益の改善を図っています。

その結果、売上高は618百万円（前年同四半期比112.1%増）、営業損失は181百万円（前年同四半期は営業損失311百万円）となりました。

④ メディカルサポート事業

当セグメントにおきましては、開発事業者や不動産会社などと連携して、駅からのアクセスや地域の医療機関の需要など、様々な条件を満たす主に新築の物件を厳選してクリニックモールを開設しています。また、クリニックモールでの開業を検討する医師に対して開業支援を手がけるとともに、開業後の医療機関に臨床試験を紹介するなどその経営を多角的に支援しており、安定した収益を確保しています。

その結果、売上高は503百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は24百万円（前年同四半期比79.9%減）となりました。

⑤ その他

当セグメントにおきましては、上記以外の事業等により、売上高は28百万円（前年同四半期比241.9%増）、営業損失は118百万円（前年同四半期は営業損失100百万円）となりました。

(注)売上高は外部取引のみの合計であり、セグメントの営業利益は、セグメント間の内部取引による利益を含んだ合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末より3,845百万円増加し、30,433百万円となりました。これは工具、器具及び備品並びに投資有価証券が増加したことが主な要因となっております。

負債につきましては、前連結会計年度末より2,039百万円増加し、18,466百万円となりました。これは長期借入金が増加したことが主な要因となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末より1,805百万円増加し、11,967百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が増加したことが主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,400	6,983
売掛金	2,846	3,264
商品及び製品	277	388
販売用不動産	1,535	1,539
仕掛品	502	366
原材料及び貯蔵品	312	333
短期貸付金	785	720
その他	718	718
貸倒引当金	△242	△197
流動資産合計	13,136	14,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,470	6,577
工具、器具及び備品（純額）	466	1,386
機械装置及び運搬具（純額）	331	65
土地	209	210
建設仮勘定	496	1,100
有形固定資産合計	7,975	9,339
無形固定資産		
のれん	1,053	1,005
その他	75	66
無形固定資産合計	1,128	1,072
投資その他の資産		
投資有価証券	2,446	3,592
長期貸付金	547	594
差入保証金	1,008	1,242
繰延税金資産	174	135
その他	178	345
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	4,348	5,903
固定資産合計	13,452	16,316
資産合計	26,588	30,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	251	376
短期借入金	3,650	3,650
1年内返済予定の長期借入金	1,329	1,548
未払法人税等	356	561
契約負債	356	414
前受金	86	77
リース債務	147	143
その他	1,257	1,818
流動負債合計	7,435	8,589
固定負債		
長期借入金	7,200	8,105
繰延税金負債	1	8
資産除去債務	149	150
預り保証金	352	355
退職給付に係る負債	172	171
リース債務	1,067	1,043
その他	46	41
固定負債合計	8,991	9,876
負債合計	16,426	18,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,879	3,899
資本剰余金	1,466	1,485
利益剰余金	5,099	6,780
自己株式	△423	△423
株主資本合計	10,021	11,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	141
為替換算調整勘定	38	59
その他の包括利益累計額合計	107	200
新株予約権	17	—
非支配株主持分	16	25
純資産合計	10,162	11,967
負債純資産合計	26,588	30,433

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	6,839	9,639
売上原価	3,885	4,613
売上総利益	2,953	5,026
販売費及び一般管理費		
役員報酬	242	241
給料手当及び賞与	761	1,019
支払手数料	83	89
賃借料	135	202
研究開発費	318	371
その他	553	692
販売費及び一般管理費合計	2,095	2,616
営業利益	858	2,409
営業外収益		
投資有価証券売却益	183	—
受取利息	14	4
受取配当金	5	0
為替差益	—	349
その他	29	110
営業外収益合計	233	465
営業外費用		
支払利息	46	64
有価証券運用損	3	181
為替差損	19	—
支払手数料	27	124
その他	0	1
営業外費用合計	97	372
経常利益	994	2,503
特別利益		
固定資産売却益	0	59
その他	28	1
特別利益合計	28	61
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,022	2,565
法人税、住民税及び事業税	297	558
法人税等調整額	3	11
法人税等合計	300	570
四半期純利益	721	1,994
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	723	1,983
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	72
為替換算調整勘定	△47	20
その他の包括利益合計	△218	93
四半期包括利益	503	2,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	505	2,077
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。